

七ツ石小屋で富士山展望、霧氷の雲取山を歩く（個人山行）

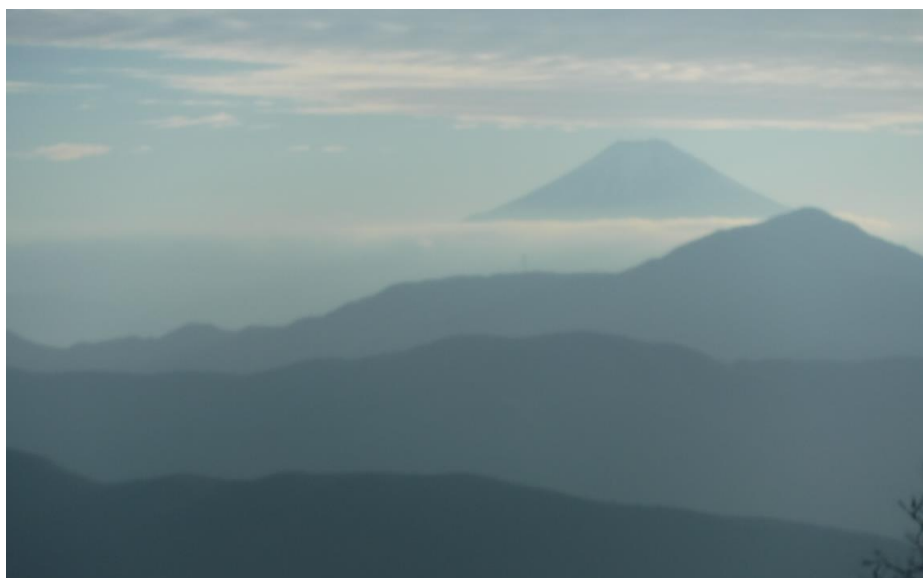
（報告）FY

◎山行期日：2023年 12月27日～28日 全日快晴

◎メンバー：FY（L）、IK

奥多摩の七ツ石小屋（1700m）に泊まり、富士山の景色を楽しもう。そして雲取山に登り奥多摩・奥秩父の展望を楽しもうという企画です。雲取山周辺には有人の小屋が三カ所あります。雲取山荘・三條の湯・七ツ石小屋です。今回は七ツ石小屋でゆったりと鍋や料理を楽しみ、霧氷の雲取山を登りました。快適なトレッキングでした。

出発地点は鴨沢の駐車場。20台近く駐車してあります。思ったより多いので驚きました。快適な道を歩きます。いつもの廃屋を越え、水場に着くと水場は凍り付いています。この道は平将門伝説が残っていて、将門の胴着を架けた「胴所」や風呂に入った「岩風呂跡」など幾つもの将門スポットがあります。



七ツ石山から富士山を眺める。シルエットが美しい。

約3時間で七ツ石小屋に到着。私は3回目の宿泊ですが毎回暖かいおもてなしです。

主の猫「伝五郎」がのったりとお迎えしてくれます。この猫は、5年前に鴨沢バス停で保護され、ここで暮らしています。全く下界に降りていないので人との関わりしか知らないそうです。定員は8人で今日は3人泊。今日はこの猫を下から連れてきたDr.Aが宿泊しています。彼は獣医で、この猫の事が気になり年間10回以上小屋に通っているそうです。ここから眺める富士山が好きで、今日もカメラを5秒で一枚シャッターを押し、2時間かけて富士山を撮影しています。この編集が大変なんだそうです。

ここから眺める富士山は美しく、手前の山並みがシルエットになり富士山を際立たせています。今日の富士は手前に雲海のような雲がたなびき、向背に雲が湧き富士山が屹立しています。富士山の形が浮き出ています。私も3時過ぎから富士山を何枚もカメラに収めました。最高の富士山の眺めです。

ここの小屋の素晴らしい所は少人数でストーブを囲み、話ができることです。オーナーのFTさんの語りが素晴らしく、「豚キムチチゲ」を食べ、旨い酒を呑みながら時間があっという間に過ぎていきます。FTさんはTVにも出演し、七ツ石小屋番日記なるものを語っているそうです。ここは素泊りのみなのですが今夜はハムサラダの盛りあわせと厚切りベーコン炒めを差し入れてくれました。メチャ、感謝です。この小屋の歴史は江戸時代にさかのぼるようです。嘗ては山仕事をする人達がこの小屋を造ったようです。ここで有り難いのは湯たんぽを出してくれる事です。布団の中の湯たんぽが堪りません。熟睡しました。3時頃トイレに起きると、天中の夜空に満月が冴えていました。凍るような寒さに都内の明かりがオレンジに霞んでいます。美しい夜景でした。

28日は日の出が6時50分。東の方が輝いてきます。5時に起きストレッチ。BFは昨日の豚キムチチゲスープにラーメンを入れて頂きます。7時に小屋を出発します。雲取山への道は快適で人と出会いません。七ツ石山を越えて9時45分に雲取山（2017m）です。雪は20cmほどです。霧氷で回りの樹木は真っ白です。

避難小屋で関西の男性と出会いました。彼は100名山をやっているそうで一昨日は金峰山・ミズガキ山に登り、昨日は甲武土岳に登ってきたそうです。私たちは2時間程で七ツ石小屋に戻り、下山しました。七ツ石小屋の素朴な快適さを味わい、ここで忘年会をやりたいと語りあいながら、冬の奥多摩を楽しみました。



七ツ石小屋には昔の小屋の佇まいが残っている。

《コースタイム》

12月27日（水）

9:00 玉川上水駅・井上車を出発-
11:00 鴨沢駐車場 11:10発 -
14:20 七ツ石小屋（1750m）

素泊り 4000円

（約3時間の登山時間）

12月28日（木）

7:15七ツ石小屋発 - 七ツ石山
（1757m） - 9:45雲取山
（2017m）着 - 10:15発 -
12:15七ツ石小屋 13:15発 -
15:35鴨沢駐車場着

（約7時間30分の登山時間）